

再 評 価 調 書

I 事業概要					
事業名	道路事業				
地区名	一般県道坂上田振線 ^{さかうえたぶり}				
事業箇所	豊田市 ^{とよたし} 栃本町 ^{とちのもと} ～国谷町 ^{くにや} 地内				
事業のあらまし	<p>一般県道坂上田振線は、豊田市坂上町から田振町（足助地区）に至る延長 6.9km の路線であり、一般県道坂上花沢線や主要地方道岡崎足助線と接続し、三河山間地域の暮らしを支える重要な路線である。</p> <p>当該事業区間は、線形不良により見通しが悪く、隘路区間も続き、車両のすれ違いが困難であることから、山間地域における拠点間の移動や、日常生活の移動の妨げとなっている。また、足助中学校の通学路に指定されているが、歩道がなく生徒等の歩行者・自転車を含めた安全性の面でも課題となっている。</p> <p>このため、「山間・離島対策の推進」、「交通事故対策の推進」を主な目的として、当地域の交通の円滑化及び歩行車等の安全確保を図るため、一般県道坂上田振線の現道拡幅事業を実施するものである。</p>				
事業目標	<p>【達成（主要）目標】</p> <p>(1) 山間・離島対策の推進（自動車の安全性・走行性向上）</p> <p>(2) 交通事故対策の推進（通学路の安全性向上）</p> <p>【副次目標】</p> <p>—</p>				
計画変更の推移		事前評価時 (2017 年度)	再評価時 (2022 年度)	変動要因の分析	
	事業期間	2018 年度 ～2027 年度	2018 年度 ～2027 年度		
	事業費（億円）	4.8	4.8		
	経費内訳	工事費	4.1	4.1	
		用補費	0.3	0.3	
その他		0.4	0.4		
事業内容	現道拡幅 延長 L=0.84km 幅員 W=9.25m 2 車線	現道拡幅 延長 L=0.84km 幅員 W=9.25m 2 車線			

II 評価

①事業の必要性の変化	1) 必要性の変化	<p>【事前評価時の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・線形が悪く、狭隘な区間で車両のすれ違いが困難であり、交通の円滑化を図る必要がある。 ・通学路に指定されているが、歩道がなく歩行者・自転車を含めた安全性向上を図る必要がある。 <p>【再評価時の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回評価時から、状況の変動要因はなく引き続き整備の必要がある。 <p>【変動要因の分析】</p> <p>事前評価時と現在の状況に変動要因はなく、引き続き整備の必要がある。</p>
	判定	<p>B</p> <p>A： 事業着手時に比べ必要性が増大している。 B： 事業着手時に比べ必要性にほとんど変化がない。 C： 事業着手時に比べ必要性が著しく低下している。</p> <p>【理由】</p> <p>車両のすれ違いが困難な区間における自動車の安全性・走行性向上の観点から、事業の必要性にほとんど変化がないため。</p>

②事業の進捗状況及び見込み	1) 進捗状況	<p>【事業計画及び実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>2018 ~2022</th> <th>2023</th> <th>2024</th> <th>2025</th> <th>2026</th> <th>2027</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">工種 区分</td> <td>調査・設計</td> <td colspan="2">←→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td rowspan="6">/</td> </tr> <tr> <td>用地補償</td> <td>←→</td> <td></td> <td colspan="3">←→</td> <td></td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td colspan="2">←→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>←→</td> </tr> <tr> <td>・土工</td> <td colspan="2">←→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>←→</td> </tr> <tr> <td>・排水工</td> <td colspan="2">←→</td> <td></td> <td></td> <td>←→</td> <td>←→</td> </tr> <tr> <td>・舗装工</td> <td colspan="2">←→</td> <td></td> <td></td> <td>←→</td> <td>←→</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">事業費 (億円)</td> <td>当初計画</td> <td>2.1</td> <td colspan="5">2.7</td> <td>4.8</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>2.4</td> <td colspan="5"></td> <td>2.4</td> </tr> <tr> <td>今回計画</td> <td>2.4</td> <td colspan="5">2.4</td> <td>4.8</td> </tr> </tbody> </table>			2018 ~2022	2023	2024	2025	2026	2027	合計	工種 区分	調査・設計	←→						/	用地補償	←→		←→				工事	←→					←→	・土工	←→					←→	・排水工	←→				←→	←→	・舗装工	←→				←→	←→	事業費 (億円)	当初計画	2.1	2.7					4.8	実績	2.4						2.4	今回計画	2.4	2.4					4.8
			2018 ~2022	2023	2024	2025	2026	2027	合計																																																																							
	工種 区分	調査・設計	←→						/																																																																							
		用地補償	←→		←→																																																																											
		工事	←→					←→																																																																								
		・土工	←→					←→																																																																								
		・排水工	←→				←→	←→																																																																								
		・舗装工	←→				←→	←→																																																																								
	事業費 (億円)	当初計画	2.1	2.7					4.8																																																																							
		実績	2.4						2.4																																																																							
今回計画		2.4	2.4					4.8																																																																								

【進捗率】

	これまでの計画に対する達成状況			全体進捗状況	
	計画【①】	実績【②】	達成率(%) 【②÷①】	計画【③】	進捗率(%) 【②÷③】
延長(km)	0.84	0	0	0.84	0
事業費(億円)	2.1	2.4	114	4.8	50
工事費	1.7	2.0	117	4.1	49
用補費	0.1	0.1	100	0.3	33
その他	0.3	0.3	100	0.4	75

※用地進捗率(面積ベース)は、約52%

2) 未着手 又は長期化の理由	・完了予定年度に変更なし。	
3) 今後の事業進捗の見込み	【阻害要因】 ・地元自治体より早期整備が要望されており、大きな阻害要因はない。 【今後の見込み】 ・2027年度までに整備が完了する予定である。	
判定	A	A：事業は順調であり、計画通り確実な完成が見込まれる。 B：次のいずれか（該当する項目に「○印」を付ける） ・これまで事業は順調である。今後は多少の阻害要因が見込まれるものの、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 ・これまで事業が長期化していたが、事業期間を延長したことにより、今後は阻害要因がなく、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 ・これまでの事業長期化により、事業期間を延長した。今後も多少の阻害要因が見込まれるが、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 C：阻害要因の解決が困難で、現時点では、事業進捗の目処がたたない。
		【理由】 ・事業は順調であり、予定通り2027年度までに整備完了が見込まれるため。
Ⅲ 対応方針		
継続	中止：上記①～③の評価で一つでもC判定があるもの。 継続：上記以外のもの。	
Ⅳ 再評価実施の有無と主な評価内容		
■対象（事業完了後5年目） <input type="checkbox"/> 対象外 【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】 — 【主な評価内容】 ・交通量（全車、大型車）、旅行速度、混雑度、安全性の改善状況		